

## グリーンスローモビリティ事業の終了について

## 1 概要

令和2年に内閣府の認定を受け、「自治体SDGsモデル事業」として実施してきたグリーンスローモビリティ事業について、実施の経緯・実績・課題を整理し、今後の事業継続の是非について検討した結果、費用対効果や利用実態の観点から、事業を終了するもの。

## 2 グリーンスローモビリティ事業について

## (1) 事業実施の経緯

コミュニティを核とした持続可能な地域社会の構築事業（期間：令和2～4年度）として、東日本大震災を契機に崩壊したコミュニティの再生、定着、活性化や被災者の心のケア等、長期的に取り組む必要がある課題のほか、半島沿岸部においては、生活に欠かせない移動手段の利便性の向上等、早急に取り組むべき課題の解決を図るとともに経済、社会、環境の相乗効果を創出するモデル事業として実施。

## (2) 事業概要

運行支援業務委託先：一般社団法人日本カーシェアリング協会

ハイブリッドリユース事業によって生産された電気自動車を活用し、グリーンスローモビリティ（電動カート）でのカーシェアリングを行うことにより、高齢者等の外出機会の創出による孤立防止及びコミュニティの活性化を図る。

のぞみ野地区：令和3年3月19日導入

あゆみ野地区：令和5年9月19日導入

## (3) 利用状況

		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	合計
のぞみ野	回数	4	30	93	30	45	36	238
	人数	12	152	277	78	133	107	759
あゆみ野	回数				2	83	45	130
	人数				5	189	90	284

## (4) 令和7年度行政評価（事務事業評価） 2年連続B評価「改善」

市民ニーズ・達成度・費用対効果が低いことから、事業の必要性を再検証し、廃止を含め検討することとされた。